

やさいレポート (令和6年7月号)

きゅうり

発行日：令和6年7月5日

1. 卸売価格の動向

○301円/kg (7月2日)

➢ 平年比：109%

○7月の価格見通し

前半：安値水準で推移

後半：平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○517円/kg (6月全国平均)

➢ 前月比：83%、平年比：115%

➢ 東京：160円 (3本)

➢ 大阪：58円 (1本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：11/20 (前月 11/20)

➢ 大阪：6/10 (前月 6/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○282g/人 (5月全国平均)

➢ 前月比：137%

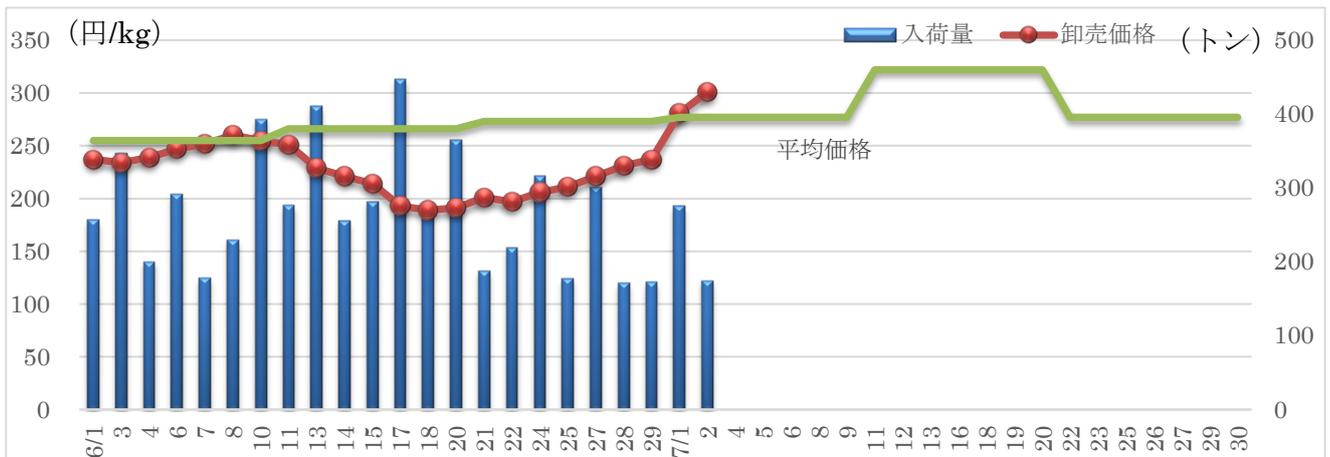
➢ 前年同月比：93%

○2,423g/人 (2023年年間)

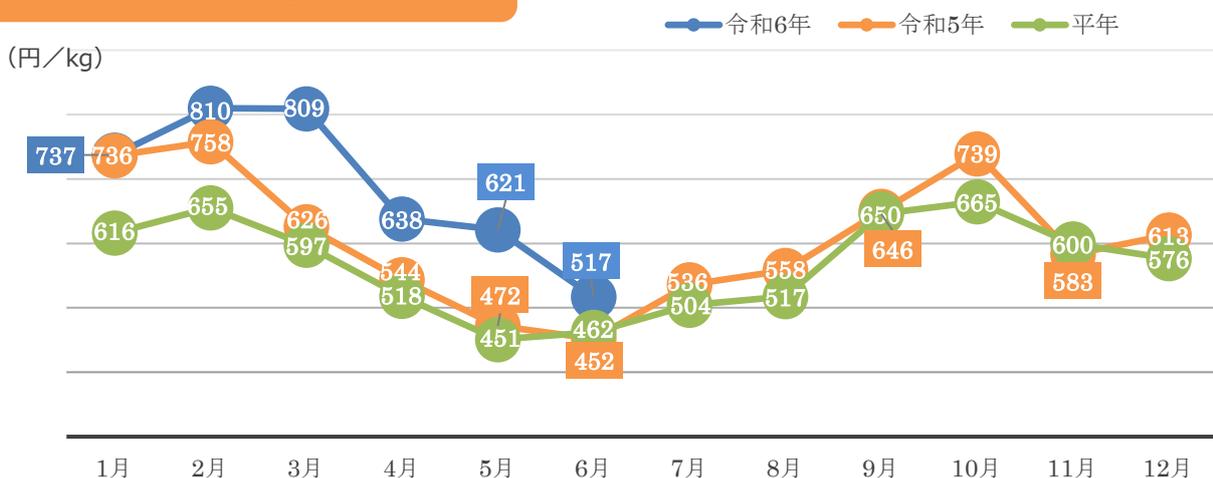
➢ 前年比：95%

(総務省統計局家計調査)

4. きゅうりの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. きゅうりの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県岩手中央 (5/16)	減少	-	早い	-
宮城県みやぎ仙南 (6/20)	減少	平年並み	平年並み	遅い
秋田県JAかつの (6/19)	前年並み	-	平年並み	-
山形県山形 (6/20)	前年並み	平年並み	平年並み	-
福島県福島北部 (6/20)	前年並み	平年並み	早い	早い
和歌山県紀ノ川中央 (6/20)	やや増加	-	平年並み	-
愛媛県周桑 (6/14)	やや減少	平年並み	やや遅い	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



山形県山形：ハウス内の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (07/06~08/02)

		週別の天候		
07/06~07/12		北・東日本と西日本日本海側では、前線や低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/13~07/19		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/20~08/02		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
西日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮きゅうり及びびガーキン)

〇〇t (5月輸入量)

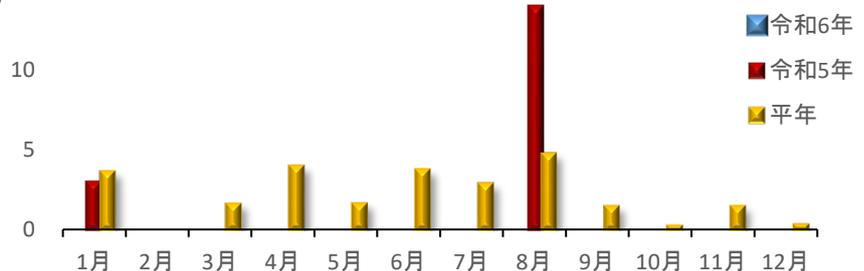
(トン) 15

➤ 前年同月比：-%

〇輸入先国ベスト3

輸入実績なし

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、西南暖地産が終了し、埼玉県産や千葉県産なども徐々に終盤となりましたが、後続産地からの出荷が気温上昇に伴って増量したことで、後半は軟調に推移しました。

7月は、埼玉県産や群馬県産など関東産は例年より早く6月末に切り上がり、後続産地である岩手県産、福島県産、秋田県産の出荷が本格化するまで端境となるものの、後半は入荷が増える見込みです。価格は前半は平年を下回って、後半は平年並みとなる見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793